



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 エムオーテック

コード番号 9961 URL <http://www.motec-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 砂原 俊晴

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 企画・管理本部長 (氏名) 数納 芳伸

TEL 03-5543-2518

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	20,619	△13.6	△366	—	△189	—	△378	—
22年3月期第3四半期	23,875	—	371	—	435	—	714	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△21.23	—
22年3月期第3四半期	38.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	43,412	13,914	32.1	779.87
22年3月期	48,480	14,517	29.9	813.49

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 13,914百万円 22年3月期 14,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△12.6	△145	—	110	△80.8	△195	—	△10.93

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

詳細は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 18,864,930株 22年3月期 18,864,930株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,022,857株 22年3月期 1,019,316株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 17,844,484株 22年3月期3Q 18,647,132株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な新興国向輸出や政府の度重なる経済対策効果により企業収益が改善するなど、景気は総じて回復の動きが持続しました。

しかしながら、欧州・米国を中心とした海外景気の悪化懸念、さらには円高やデフレの影響、高水準で推移する失業率など、依然として先行き不透明感を払拭出来ない状況となっております。

当重仮設業界におきましても、公共建設投資や民間建設投資が低水準で推移しており、経営環境はより一層厳しさが増しております。

この様な状況下、当社は企業収益の回復と強固な経営基盤の構築に向け、工場拠点の見直し、主要工場の全面改修、保有資材の圧縮、借入金の返済等を継続してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は206億19百万円（前年同四半期比13.6%減）、営業損失は3億66百万円（前年同四半期は営業利益3億71百万円）、経常損失は1億89百万円（前年同四半期は経常利益4億35百万円）、四半期純損失は3億78百万円（前年同四半期は四半期純利益7億14百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、434億12百万円（前連結会計年度末比50億68百万円の減少）となりました。

これは主に、貸貸用機材24億21百万円、受取手形及び売掛金17億23百万円、商品5億65百万円、現金及び預金4億54百万円等が減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、294億98百万円（前連結会計年度末比44億65百万円の減少）となりました。

これは主に、長期借入金（一年内返済予定を含む）4億53百万円等の増加があったものの、短期借入金18億76百万円、流動負債のその他11億17百万円、支払手形及び買掛金10億47百万円、未成工事受入金5億11百万円等が減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、139億14百万円（前連結会計年度末比6億2百万円の減少）となりました。

これは主に、利益剰余金5億57百万円等が減少したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ4億54百万円減少し、23億95百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、19億99百万円（前年同期比23億29百万円の増加）となりました。

これは主に、その他の流動負債12億87百万円および仕入債務10億47百万円の減少等があったものの、たな卸資産32億円および売上債権17億23百万円の減少等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、8億21百万円（前年同期比40億89百万円の減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出7億65百万円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、16億31百万円（前年同期比9億73百万円の増加）となりました。

これは主に、長期借入金の収入20億円があったものの、短期借入金18億76百万円および長期借入金15億46百万円の返済等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想から修正を行っております。

詳細につきましては、本日別途開示いたします「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想に当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより当第3四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失はそれぞれ3百万円増加し、税金等調整前四半期純損失は33百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,395	2,850
受取手形及び売掛金	10,598	12,321
商品	411	977
賃貸用機材	18,091	20,513
未成工事支出金	613	826
繰延税金資産	484	484
その他	384	546
貸倒引当金	△78	△94
流動資産合計	32,901	38,426
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,446	6,436
その他(純額)	2,849	2,351
有形固定資産合計	9,296	8,788
無形固定資産		
	237	143
投資その他の資産		
投資有価証券	671	797
その他	371	413
貸倒引当金	△65	△88
投資その他の資産合計	977	1,122
固定資産合計	10,511	10,054
資産合計	43,412	48,480
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,226	9,274
短期借入金	11,623	13,500
1年内返済予定の長期借入金	2,605	3,025
未成工事受入金	454	965
役員賞与引当金	12	25
資産除去債務	16	—
その他	990	2,107
流動負債合計	23,929	28,897
固定負債		
長期借入金	3,983	3,110
負ののれん	1,009	1,345
資産除去債務	106	—
その他	468	610
固定負債合計	5,568	5,066
負債合計	29,498	33,963

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,226	3,226
資本剰余金	3,036	3,036
利益剰余金	7,863	8,420
自己株式	△205	△204
株主資本合計	13,920	14,478
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6	38
評価・換算差額等合計	△6	38
純資産合計	13,914	14,517
負債純資産合計	43,412	48,480

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	23,875	20,619
売上原価	20,345	18,341
売上総利益	3,529	2,277
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	3,158	2,643
営業利益又は営業損失(△)	371	△366
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	13
負ののれん償却額	336	336
その他	54	51
営業外収益合計	403	402
営業外費用		
支払利息	269	211
手形流動化手数料	16	5
その他	53	7
営業外費用合計	339	224
経常利益又は経常損失(△)	435	△189
特別利益		
固定資産売却益	789	39
投資有価証券売却益	3	0
会員権処分益	0	5
貸倒引当金戻入額	94	19
特別利益合計	888	64
特別損失		
固定資産除売却損	99	10
投資有価証券評価損	—	62
会員権売却損	—	0
会員権評価損	—	6
減損損失	273	64
工場閉鎖費用	5	30
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	30
特別損失合計	377	204
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	946	△328
法人税等	232	49
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	714	△378

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	946	△328
減価償却費	360	316
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△300	△39
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	62
固定資産売却益	△789	△39
固定資産除売却損	99	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	30
会員権売却損益(△は益)	—	0
会員権評価損	—	6
会員権処分損益(△は益)	△0	△5
減損損失	273	64
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19	△13
負ののれん償却額	△336	△336
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	269	211
売上債権の増減額(△は増加)	928	1,723
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,865	3,200
その他の流動資産の増減額(△は増加)	318	127
その他投資その他の資産の増減額(△は増加)	197	22
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,192	△1,047
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,271	△1,287
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△96	△80
その他	27	2
小計	262	2,575
利息及び配当金の受取額	13	13
利息の支払額	△247	△182
特別退職金の支払額	—	△357
法人税等の支払額	△358	△49
営業活動によるキャッシュ・フロー	△330	1,999

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△79	△5
投資有価証券の売却による収入	11	0
有形固定資産の取得による支出	△446	△765
有形固定資産の売却による収入	3,784	57
無形固定資産の取得による支出	△12	△120
その他投資その他の資産の取得による支出	△8	△19
その他投資その他の資産の売却による収入	9	6
その他投資その他の資産の返還による収入	6	16
資産除去債務の履行による支出	—	△3
貸付けによる支出	△11	△5
貸付金の回収による収入	13	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,267	△821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,905	△1,876
長期借入れによる収入	3,700	2,000
長期借入金の返済による支出	△2,844	△1,546
割賦債務の返済による支出	△143	△4
リース債務の返済による支出	△23	△25
自己株式の取得による支出	△200	△0
配当金の支払額	△188	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,604	△1,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	332	△454
現金及び現金同等物の期首残高	2,592	2,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,924	2,395

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。